

09年10月22日ダーラム郡警察ニュース

JSS 和訳

## リンゼー作戦の結果、合計 41 人を

### クラークリントン地域で逮捕

2週間にわたって進められた、クラークリントン地域の高校周辺の麻薬使用ならびに密売捜査で41人が逮捕され、多量のマリワナおよび各種の麻薬器具が押収された。

リンゼー作戦は16管区の地域対応課から派遣された私服警官による監視活動で、クラークリントン地域の全公立およびカソリック系高等学校周辺で進められた。係官は9月および10月の不特定時に活動した。

捜査を通じて、麻薬に関わる多くの状況が目撃され、全ての高校から逮捕者が出ている。逮捕者は合計41人で、11種の犯罪嫌疑がかけられている。嫌疑の多くは所持が制限されている薬物の所持であった。さらに、保釈条件ないしは保護観察条件違反関連の嫌疑もあった。

逮捕された41人のうち6人は成人で、残り35人は若年者であった。逮捕に伴い6人が、若年犯罪刑法に基づき隔離処置を受けた。逮捕された者たちは法に基づく処置のみならず、学校による処置も受けた。これら違反者全ては、停学処分となった。

学校当局はこの作戦および今回に先立って進められた同様の作戦に極めて協力的である。警察および学校当局によれば、3年前に行われた同様の作戦にくらべ逮捕者が大幅に減少した。警察によると、押収された薬物の量も大幅に減少した。警察はこれらの大幅な減少は、警察による、監視の強化ならびに地域の高校における麻薬取り締まりの徹底化の結果である。結果として近い将来、麻薬使用をさらに減

小さめるために同様の取り締まり作戦が実施される。

クラークリントン地区の学校での違法な麻薬関連の動きに関する情報を持っている人は、16管区の高校派遣係官である Heather Briese 警部(電話 1-888-579-1520 ext. 1631)に連絡を取られたい。匿名の情報は、ダーラム地区クライムストッパーズ(電話 1-800-222-TIPS (8477))が受け付けており、情報提供者は\$2000までの奨励金を受け取れることがある。

### JSS 説明

クラークリントン (Clarington) はオンシャワの北東約 30km に中心のある郡で、地域には高校が4校ある。たまたま発表された若年者の麻薬使用、密売に伴う捜査の記事であるが、多くの逮捕者を出しているところに着目して訳出した(警察は、数年前の捜査時に較べて減少しているとコメントしているが)。

仄聞するところでは、トロント市内でも若年者の多くが麻薬を使用しており、麻薬に関して厳密な規制が敷かれている日本とは大幅に異なる社会事情があるかと思われる。カナダでもマリワナを含む麻薬の使用は禁じられているないしは制限が加えられているが、時にマリワナ使用を合法化すべきといったデモが行われる、ダウンタウンの一部での麻薬密売と使用は半ば公然、莫大な量のマリワナ栽培が日常的に摘発されているなどが実情だ。

トロント周辺には家族同道で一時滞在、居住している日本人がかなりの数に上るが、子弟の通う教育機関や出入りする場所で、麻薬がどのように扱われているか、保護者

は知っておくと共に、子弟への波及を十分警戒する必要がある。特に、数年の後に常識の異なる日本に帰国する人々にとって、当地で経験しうる習慣性ある麻薬使用が大きな問題になる可能性は高い。